

ノルウェーの高等学校 比較教育学会・発表資料

Østfold県の教育行政・学校運営

(1) Østfold県の行政

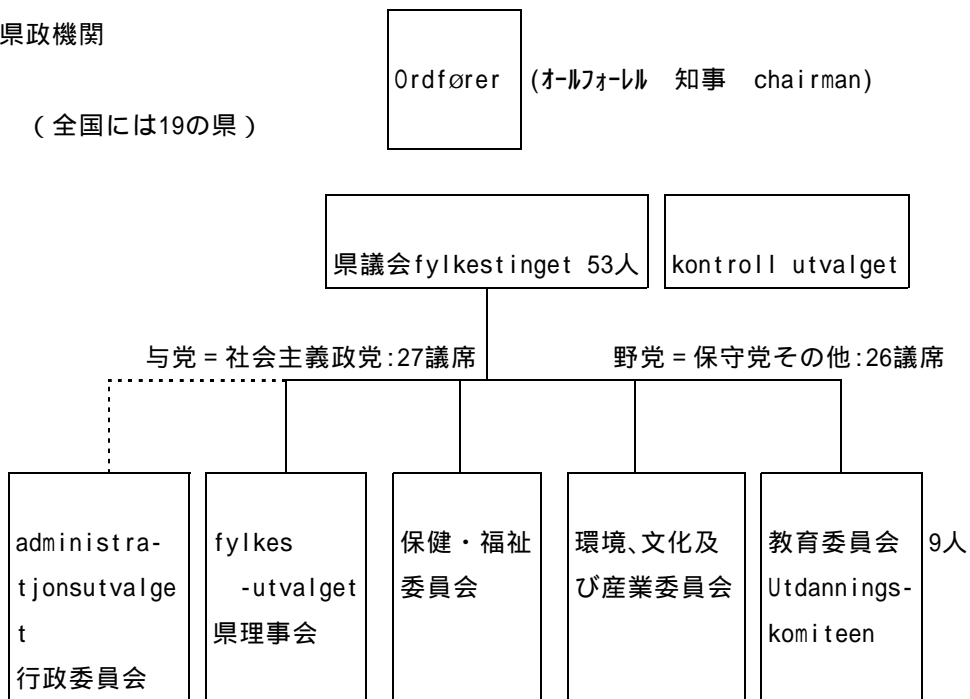
(99年9月聞き取り)

人口24万。18自治体。内6つが市 town。

県庁所在市 Moss、教育部所在地 Sarpsborg サブ・スボルグ

県政機関

(全国には19の県)



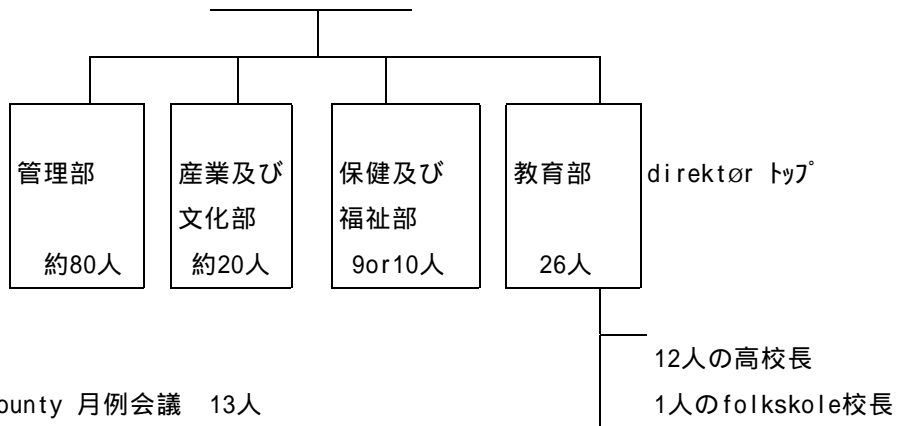
13人(執行部)月例会議を行なう
3人の政治家が入っている。

一般に県の教育委員会は、県議会が任命する。後期中等教育及び同レベルの成人教育に責任を負う。地方自治法の定める範囲で、県が他の行政事務も兼ねる委員会によって教育行政を行なうことも可能。

県の教育行政機関

Fylkesrådmann

県行政長 (radmann : chief officer)



県 The County 月例会議 13人
Executive Board 県議会にのみ責任を負う

6つの委員会 高等学校教育委員会
(不詳) 見習い制委員会

(聞き取りノート)

県の予算 31億ノルネ 400億円 (1nok 13円 として)

cf 1998年7月17日の法律第61号 § 11-5 高等学校の学校委員会

cf 地方自治法

§ 11 事業、施設等の管理

1. コミュニティ管理部kommunestyret及び県議会fylkestingetは、自身でコミュニティまたは県の事業、施設等のために独自の管理組織を設立することができる。そのような管理部は、最小限3人の構成員を有しなければならない。

2. コミュニティ管理部及び県議会はその管理部の構成に関して独自の規定を与える。それはその管理組織が完全に又は部分的に管理の長から任命され、又は公務員からここで定めることができる。

(2) 高等学校の学校委員会 skoleutvalget

(= 協議委員会samarbeidsutvalget)の構成

(coordinating committee)

stfold県の高等学校の場合

8名	4名 学校の管理職 rektor(校長) 県の代表 (校長の投票権は2票) inspektor(各学校に3~6)のうち3名 (しかし、校長が2票もっている)
	2名 教職員組合代表
	2名 生徒会代表

(3) 高等学校教員の採用

高校の校長は、fylkesutvalget が採用する。

副校長 Inspektørは、administrasjon utvalget が採用する。

教員は学校の skoleutvalget が選ぶ

(4) 教育行政

教育内容は文部省 K U F が定める。

教科書は文部省が認定する。複数ある。

学校のskoleutvalgetが選ぶ(実際は教員が選ぶ)

BokmålとNynorskの両方が必要

教科書は高校は生徒が買う。

この県に関してはプロジェクトがあって、貸し出し制を試みている。

財政

県の収入

国の援助 学校に分配 学校が使う。

給料 90% 学校は予算申請

教材

設備 総額は総枠

(5) 高校入学

第一希望に93%が入る。(200人 = 7%が第一希望に入れない。)

造形とスポーツ学科が難しい。

県に願書を集める。その調整が県の教育部の仕事。26人のうち4人が係り。

中学校の内申書によって決める。

この県の独特のやり方。学科を選ぶ。

(この方式は北ノルウェーに1県か2県あるだけ。他の県は学校を選ぶ)

県の教育委員会で決めた方式。

内申書 11科目 0~6の7段階評定。点数の付け方は法規で定めている。

高校の学習上の問題

県の高校生の20%が勉強について行けない。履修内容の部分的修得にも証明書を発行している。これに上乘せして勉強が出来る。

高校の脱落者 高校に行っていない子に対しては、県が呼び出して面接して聞く。 高校を辞める子については、書類に記入 フォローアップする。 本当に学校に来ないのは4% ~ 5%

ハルデン高校

訪問・聞き取り 99.9.8

1997年、4つの学校を統合してハルデン高校となった。

特殊学校：県で唯一の学校。生徒27人。

Porsnes 普通は生徒400～450の定員。今年は少ない。

教職員70人(教員の外、管理人や食堂用員も含む)。

職業コース 1クラス15人

普通クラス 1クラス30人

ポシュネス分校 床面積約9000m²

リースム分校 6000m²

クリムセン分校 5000m²

特殊教育分校 1000m²

殆どの生徒は、ハルデンから来ている。

すべてのタイプの生徒を受け入れている。階層、社会的背景の違いがこの学校の生徒に見られる。

99/2000年の学校の主要課題

すべての分野における質の向上

いじめ、麻薬、アルコール対策

生徒参加を重視

生徒たちが、学校について教員についてアンケートを企画している。

入学の手続き

生徒は願書を県の教育部に出す。

中学校の成績証明書。

過年度卒業生は、1年(??)労働証明がポイントにプラスになる。

留年は、1000人に10人くらいの割合。

機会科の場合、1年間で学ぶべき事に2年間を当てる生徒がいる。

今、30人のうち5人はそうしている。

学習課題の全部を修了しなくても、一部(例えば溶接)を身につけたら、それについて証明書を出す。

20～30%が、学科の全部をクリアすることは出来なかった。

職業科を選んだ生徒も1年追加の勉強をすれば大学進学勉強が出来る。

そのために選択できる科目の提供もしている。

職業コースでも理論だけで終わるコースもある。

成人向きの席を25%設けている。(1番年上は50歳がいる。)

5%弱は外国人。多くは元ユーゴスラビア、パキスタン、ベトナム。

¢

70年代にパキスタンから労働力が入ってきた。

スポーツとteknisk byggefagの二つがこの学校にない。

- ・ 15～17人 サブスブルグヘ（6kmはなれている）
- ・ 4～5人

小中で4km以上、高校で6km以上離れていると国からコミューン、県に国から補助金がでる。

95%は家から通っている。

今年の入学では90%が第一志望で入った。

造形は第一志望で入れない子が多かった

ハルデン高校には県で唯一のコースが二つある。

薬局技術（薬剤師の資格 or 薬剤事務の資格）

薬剤事務第3学年クラスを見学した。

機械プロセス

skoleråd これが校長、教頭以外を採用決定する

校長

4人 教頭

2人・・・教職員代表

2人・・・生徒代表

基本精神と専門知識のカリキュラム

- ・ 電気のシラバス or カリキュラム
- ・ 造形

生徒規則（校則）

麻薬問題 重視している。

アルコール

・ その対策：各市及び県の専門家が職域を超えて学校と一緒にプログラムを作った。

・ 違反者を見つけて罰するのではなく、修学できるようにするのが目的。

・ いじめに対するプロジェクトもある。

クラスに1人ずつ、いじめ問題を担当する生徒がいる。

特殊教育分校での聞き取り

99.9.8午後14時12分～

対象生徒

普通の学校では学べない

中学生の段階で乱暴をする 生徒たち

今、女子8人、男子19人、計27人の生徒。

社会生活に問題のある生徒たち。情緒生活に問題のある生徒たち。

県から来ている。この近くの子たちは殆どなし。

全寮制の学校(次第に宿泊日数を増やす)

多くの子供たちは愛情不足。両親と一緒に住めない。

大きな機能障害は無い。

学校には1年単位で願書を出す。(5年間まで教育を受ける権利がある。)

最高4年、ここにいた子がいる。ここには平均3年居る。

職員たちは、長く居すぎるのは良くないと思っている。

学習内容は、3週間が単位。出席と社会性を重視

クリアした子は、その生徒の出身の町で実習ができることを目指している。

実生活を重視する。

生徒は3段階に分かれる。1)24時間の監督付き。2)夜の監督。3)普通の生活
農場が周囲にある

コース1。自然を使ったコース。農場はあるが酪農はしない。

コース2。木工 4人。家を建てるのではなく、家具など小さなものを作る。

コース3。機械 6人

コース4 ヘルスソシアルファグ 6人

1週間に2日、近くの幼稚園児と保母がこの学校に来る

また、1週間に1回、老人センターにゆく

1週間に1日は、学校で売店を作って売り、食事の世話をする

A Aコース。経営・コンピュータ・市場開拓

1人1台のコンピュータ。学校のニュースレターを作る。

グルンクルスに戻れるように、数学、ノルウェー語、社会、英語をやっている

食事を一緒に作ったり。

半強制的に課すこともある。

この学校のアドバイザーと出身コミューネの担当者が連携して

仕事

住まい

友人関係・ネットワーク

を保障している。

殆ど100%の生徒がこの保障を受けた。

☺

追跡調査をした。4, 5年たっても仕事と住まいは続いていた。

友人関係はフォローアップ不可能。人間関係が淋しい。学校の寮が良かったという。

44人のスタッフがいる。

うち教員 11人

校長

副校長 2

主任

その他の職員31人

- ・ インタネット
- ・ 調理員
- ・ 掃除人
- ・ 夜の管理人

教員はすべて特殊教育教員資格を取っている。1年で足りる。

しかし、2年間の学習をした人もいる。

グレメン高校

(訪問: 99.09.8日 10時~)

生徒数1000人

3万㎡の敷地 サッカーコート10個分

240人の職員、うち170人が教員

5つの基本精神: 快適、安全、安心、協力、ポジティブ

これほどの環境では、教員、生徒一人ひとりの精神を良くするしかできない。

上からの監督ではだめ。

学校に居場所を求めて来る生徒への対応も重要になっている。

約5%の生徒

この学校の生徒の95%の生徒が授業に満足。学校生活が楽しい、教員のレベルが高いと思っている。(Ostfold県のアンケート調査)

普通科は一クラス生徒数30人

職業科の専門科目は最高15人。12~15人が普通。

学校の課題: とすると1つの学校の中にいくつもの高校。

それを防いでみんなで一体感を作ることが重要。

オスロ市教育部

99年9月14日 13時30分～15時

高校入学 13の基礎コースは他県と同じ。
成績順で選ばれる。
1年はすべてここの教育部(etat)に願書を出す。
2年、3年、職業課程は毎学年毎に市に願書を出す。
スポーツ科、普通科。経済科はその学校で3年過ごす。

高校の制度は市(他は県)で決める。

生徒はまず学科を決め、その学科のある学校を3つ選ぶ。
この点は、他の県と全く違う。他県は学校を選ぶ。
理論的にはコースも3つ選べる。(3×3=9つ選べる)
実際には殆ど選んだ学科に入れる。
教員(radgiver)も入れる現実性のあるコースを志願するよう指導する。
成績順に取るので学校差ができる。街の中心にある学校が人気。
職業課程は規模が小さい方が人気がある。

市政で変わる。

労働党市政の時(～1995?)は地域性を重視していた。
今は全市1区
今はF+右(Hoyre) (対 A労働者党 + S V社会主義左等)
今度の選挙の後も、K r キリスト教民主党が多分、右につくのではないが。
今まで右の政党が執行部の市議会だった。
多分、同じ政党の執行部になるだろう。

(特定の学科・学校に希望者が集中したとき、調整する仕組みがあるか?)

基礎課程入学決定の仕組み

2回に分けて希望を取る。1回目の希望提出は7月10日、2回目は8月5日。
1回目の希望から抜けてゆく人がある(・外国に行く。・私立学校に行く)
希望の多いところから成績順に決めてゆく。
学校が始まったときに、その課程にでてこない人が400人いた。
海外に引っ越し。
両親はオスロ。しかし、他県のバーネワン(??)の決定で(??)
グルンクルスをもう一回やり直すつもりだったけれどもやっぱり止めた者、など。
すでに入学コースが決まっている者は、変えることが出来ない。
400人の欠員部分は、それなでの2回の決定で入れなかった者がそこに入れる。

☺

オスロに24高校がある。7793人が入学許可された(99年8月)

うち400人が学期当初に来なかった。

現実に希望が多くて入学定員を増やした学科は？

ホテル・サービス学科は増やした。

高校生活調査：90%の教師も94年改革に満足している。

年取った人のための入学の別枠がある。

夜間学校もある。

学校間格差 (日本では大学に進学しやすい学科・高校が入学が難しく、
志望者が多くなっているが、そのような現象はないか？)

オスロ市の西の方が学力が高い。

概して、子どもはお余の職業に応じた職業に向かうコースを選んでいる。

ノルウェーは機会均等。

でも実際は親の社会階層に応じている。

スウェーデンのように学校が社会階層の影響を減少させているか否かについての調査があることは私は知らない。

(特定の学校や特定の学科毎に定員が満たされない傾向があるか？)

自然利用natur-brukや化学過程chemieprocessの学科はオスロの環境ではその方面の職業に就く可能性が少ないので希望が少ない。

生徒の希望とこちらが提供できる学科とのかねあいが難しい。

義務制、高校一貫行政

オスロは、大きな都市コムーンであるが、基礎学校行政に関してオスロの特別の教育行政の仕組みはない。

基礎学校と高校の教育行政を一貫して行っているオスロの方がよいということがある。

基礎学校については一番近い学校に行くという原則でやっている(地域性)

境界の場合は兄弟がどちらに行っているかが考慮される。

基本精神は、地域で子どもを育てる。

高等学校の教務担当の責任者

ソグンは、単科高等学校

ストーブナーは普通科と職業科がある(これは新しい傾向。15年くらい迄に??出来た)

オスロ・ハンデルス・ギムナジウムは単科で古い(98年?に105周年。cupをもらった)

Stovner 高校

99年9月15日 9:45 ~

私立学校の問題が出てきた。

オスロでは賛成派・・・伸びた。 Høyre

反対派・・・Venstre、 S V

H：競争を利用して学校全体の質を上げる。

遠距離通学の問題が生ずる。

この学校はオスロ市の北東部にある。

普通科：近くから来ている生徒が多い

職業科については、ソゲンとストブネル（地域）がこの学校だけに来る。

Hudpleier (skinterapeut) の学科

hudpleier (skinterapeut) (pleie = take care of)

オスロでは Stovner 高校だけにある。 他校の GK からこの学校の VK に来る。

逆に、Stovner の Helse-og sosialgag の GK が進む VK 1 は、Stovner ではこの学科だけ。

Stovner の GK からこの VK 1 に進むのは 5, 6 人

生徒数は、VK1、VK2 で 60 人。 専門学科の教員は 4 人。

生徒の負担にかかる費用：VK1 で 4000 ~ 5000 NOK (7万5000円くらい)

VK2 で、2000 クロウネ

約 20 年前に既にこの学校にこのコースはあった。

この学科は人気があって、入るのに難しい。 就職も良い。

Hudpleier の時給 400 ~ 500 NOK

マッサージ産業はすべて私企業。

Hudpleier 科の専門科目 (この項。 出典 'Din videregaende opplaring ? '2000-2001, side 74)

Hudpleier skole Vk1 2. år (学校での第2学年)

専門科目 25 時間 / 週

8 Dermatologi (皮膚病学・皮膚科学)

8 Hudpleiefag

4 Service og etikk

5 Apparat- og produktlære

Hudpleier skole Vk2 3. år (学校での第3学年)

入学資格 VK1 hudpleier

専門科目 29 時間 / 週 (Stovner 校の3年では週30時間のうち13時間は実習)

2 Miljølære (環境学習)

4 Dermatologi og sykdomslære (皮膚病及び病理学)

¢

3 Bedriftslare(企業学習)

5 Make-up og fargelare(メーキャップ及び色彩学習)

15 Hudpleie fag

選択科目 4 時限/週

Helse-og sosialfag(G K)

その専門科目 22時限/週

11 保健科目

6 社会福祉及び心理学

5 人間生物学

海外交流プロジェクト

ロンドンの学校との交流、スコットランドの学校との交流をしている。

最初。Hudpleier 2校との交流。普通科(4クラスある).hudpleierの方は断られた。

EUの学校との交流。これを利用して教員の交流も行う。

日本の17,18歳の生徒が教師と来ていた。

99年3月から短期交流のプロジェクトをはじめた。

(生徒に入学時に?)この学校を選んでもらうため。

この地域は経済的に平均よりやや下。

その階層の子どものために学校が機会を開く。

3万5000クローネ、生徒は国から経費をもらえる。

今申請をだしているところ。私たちはOKをもらえると思通している。

2000年8月から。

オスロ市教育局はこういう企画にポジティブ。

学校増築計画がこの学校にはある。

2000m²の教室面積を増築。

2003年8月入学者のなると2000人の高校定員が不足する。

海外交流のこのプロジェクトをやると1年間に45人の生徒が海外にできるので毎年その間の生徒数を増やせる(20~30人が普通科。15人がスキンケア科)

2006年8月(7年後)に5000人の入学すべき生徒が増える。

(小中学生が現に増えている。)

この学校の生徒の35~40%が外国語が母語。

inspektor等のリーダーは、校長を含めて毎日会合する。

K U F ・ セール ・ トロンデラーク県教育局

聞き取り

2000年9月5日。オーラ・モー01a Moe 局長UTDANNINGSDIREKTOR AV STATENS
UTDANNINGSKONTOR I SOR-TRONDELAG ,

高等教育問題認識

知識社会への対応、 human-capital 理論 国際間の要因としての教育。多文化社会への対応。同時にノルウェーの伝統尊重。 教育学的な最近化。 生産性の能率化

教育改革論

上の5つは西欧の教育学的理念と同様。しかし、ノルウェーでは 教育における民主主義に重点を置いている。したがって、多くの国民により長く教育を与えることを重視し、エリート・専門家の教育よりも国民全体の教育に重点を置いている。イギリスのサッチャリズムの影響はあまりない。今のところ好調なノルウェー経済の状態が前提になっている。

94年の改革、97年の改革は労働者党の文相ハーネス(Gumund Hernes)が指導した。

ハーネスは、どちらかという教育内容の最新化。

97年9月選挙の結果、中道政権に移り、文相もキリスト教政党になったが、2000年春、労働党が政権に復帰。しかし、ノルウェーでは、教育に関しては労働党と中道政党の間に大きな違いはない。ハーネスの改革理念には、中道政党からの反対はない。

中道政党は中道政党は、やや、競争、個人の教育、専門家の育成を強調している。

また、中道は地方に重点。労働党はやや中央管理的。

Lareplanverketの作成は、ハーネスの跡を継いだ97年政権までの労働党の文相Reidar Sandal。96年のLareplanverket以降は、どちらかという、教育方法の最新化に重点が移った。97年改革はデューイ理論による。

今は、ミヨース(Ole Danbolt Mjos)の率いる大学改革が論議されている。

NOUレポート(Norgws offentlige utredninger) 2000:14

Frihet met answer om hogre utdanning og forskning i Norge

humann-capital論。(NOU報告71頁以下)

資本と労働力だけでなく知識も経済発展の要因(として重視する)。

国際教育 経済の国際化 政治の国際化 EUに加盟していないがEUとの関係深くなっている。 個人の流動性(よく海外に行く)。 ノルウェーに外国人が多くなった。外国語教育に力を入れている。自分(59歳)は中学から英語。今は小学1年生から英語。

多文化社会への対応教育の関係。特にユネスコの「国際教育」の影響ではない。

大学・高等教育入学制度

高校を卒業して、大学・ホイスコーレに入学する。

職業科から大学に入るには、ノルウェー語、英語、数学、理科、社会を一定水準まで勉強していないといけない。(この成績は高校が認定)。

この5つの科目を勉強すれば、原則として大学に入学する権利はある。

しかし、現実には収容能力の問題があるので、高校の成績を点数で計算し、点数の高い者から入る。

その上で、医学や工学の場合、各大学(学部)の特殊な科目の試験がある。この試験も、各大学が独自に行うものではなく国の規則で決まっている。国の法規で、どの科目の成績を計算するかなど、各大学の入学制度は定められている。例外として、芸術や実習の設計とかは、大学で試験をする。

3つか4つの科目は、国家試験(Examen fra videregående skole)。

数学、英語、理科、ノルウェー語、第2or第3外国語

高校で職業科を学習したが、大学に進学したい者に対する補足教育の期間は大体1年。

権利として保障するのではないが、国は補足教育の機会を与えるよう県に勧めている。

定員(席)の何倍かの入学生が生じているのは、5科目履修者が高等教育を受ける権利を有するという原則と収容能力の矛盾の問題。

一つには、入学許可が出ても、複数大学・高等教育機関に合格し、実際には入学しない者がいる。学生に入学大学の優先順位を付けさせることを検討する必要がある。

もう一つは、原則として入学する権利があるので、入学させないためには入学させないことができるという許可が必要。(省あるいは省の定めに従って大学の理事会が定める)

ホイスコーレの場合は、始めから人数制限がある。大学は公開が原則。

現在、94, 95%が高校に進学。卒業はそれよりやや少ない。高校は、職業と一般が50%、50%になるよう、政府は目標としている。現実もそれに近くなっている。

80年代 - 90年代の始め青年の失業が大きな問題だった。

80年代末、労働党が青年の職業又は教育を保障する政策を出し、そのため大学にも金を出した。(前に高卒の人も大学教育を受けられるようにした?)

労働党の青年保障政策。

数年で大学・高等教育進学者が2倍になった。80年代末 - 90年代始めのこと。

94年改革の背景

大きな目標は、できるだけ多くが卒業することであった。

職業教育について、原則として学校で2年の学習の後、企業で実践及び理論学習2年としているのは、世界的にもノルウェー独特の制度と考えている。

見習い制度

従来はノルウェーもdual system だった。94年の改革で組み合わせた。

☺

従来は、V K 1、V K 2に進むことが困難だった。県の義務、生徒の権利を定めてこれを克服した。

企業での実習と、企業にゆけないために学校で行う実習とでは、実数は前者の方が多い。Sor-Trondelag県では、93年の2倍以上の見習い実習ができるようになった。

94年改革前は、年長者が職業教育に入っていた。

94年改革は、16歳の青年に教育を受ける権利を与えた。

成人の職業教育の機会が不足した。

それを解決するために、今年6月1日opplæringslova(opplæringsloven)を改正した。

1978年以前に生まれた人の後期中等教育を受ける権利を定めた。

企業実習重視の背景(理由)

学校と経済界の協力の必要性があるという考え方。人間性の育成を重視すると協力が難しくなるおそれがある。義務教育と企業との連携を進めようとしたが、これはやや問題を生じた。

活動を通しての学習の方が生徒は楽しいし、効率的であるということ

企業では最新の機器を使うが、学校で最新の機器を整えるには金がかかる費用がかかると言うこと。

教科書行政

今年の夏、法改正があり教科書の承認の制度がなくなった。

教科書にかつてほど重点を置かなくなった。Iareplanに重点を置く。

教科出版書は、民営化している。

教科書採用は、義務教育では各教員が選び、学校の予算の範囲内で(したがって校長の承諾を得て) 買い、生徒に貸す。学校の経費は、義務教育ではコミューネが出す。

高校の教科書は、教員がきめ生徒が買う。価格制限はない。市場競争が働く。

教科書会社の大きな収入になっている。

高校の教科書は高価なので1億NOKを政府が教科書購入のための補助金として出すことに決めた。国から県を介して1人ひとりの生徒に出るだろう。詳細未定。未実施。

セル・トロンデラグ県教育部での聞き取り

2000年9月8日

政治行政機構

53人の県議は選挙

一部の県議は兼職

うち13人が執行委員会(常任委員会)

3つの委員会の委員はすべて県議(教育委員会の生徒2名を除く)

4つ目の行政委員会(管理委員会?)の3人は従業員代表

Fylkesradmannは、行政の最高責任者である。募集して応募した中から議会が選ぶ。

職は身分保障

この県では任期は無い。

radmannを設置することは法で定められている。

radmanの下各部の部長(教育部長など、)は、Fylkesutvalgが選ぶ。

県の議長及び4委員会の委員長は、県議会選挙の後の議会で決める。

各委員長がその委員会の委員を決める。議会の構成に応じて。

教育部の中の職員は教育部長が選ぶ。

28の高校の校長は、応募者の中から部長が選ぶ。

職員は、校長が選ぶ。

この県の場合は、教育実習委員会は教育部(教育部長)の管轄外。

教育部長職設置は法定ではない。

長官radmannから任務を委嘱されている。

長官に反対の意見は提案できない。自治法 § 11-6

教育委員会の生徒代表は、発言権はある。決定権と選挙権はない。

県の主な機能

病院の管理運営、 道路整備、 高等学校等の設置運営、 産業開発

県の雇用人(従業員)	1996年	1998年
	8799人	9321人

平均的な県で平均的な雇業者数である。

(高校教員、病院の医者、看護婦、管理公務員を含む)

9321人のうち1500人が高校教員。

500人がその他の高校職員。

高校：生徒及び見習い実習生が約10,000人

セル・トロンデラグ県組織図

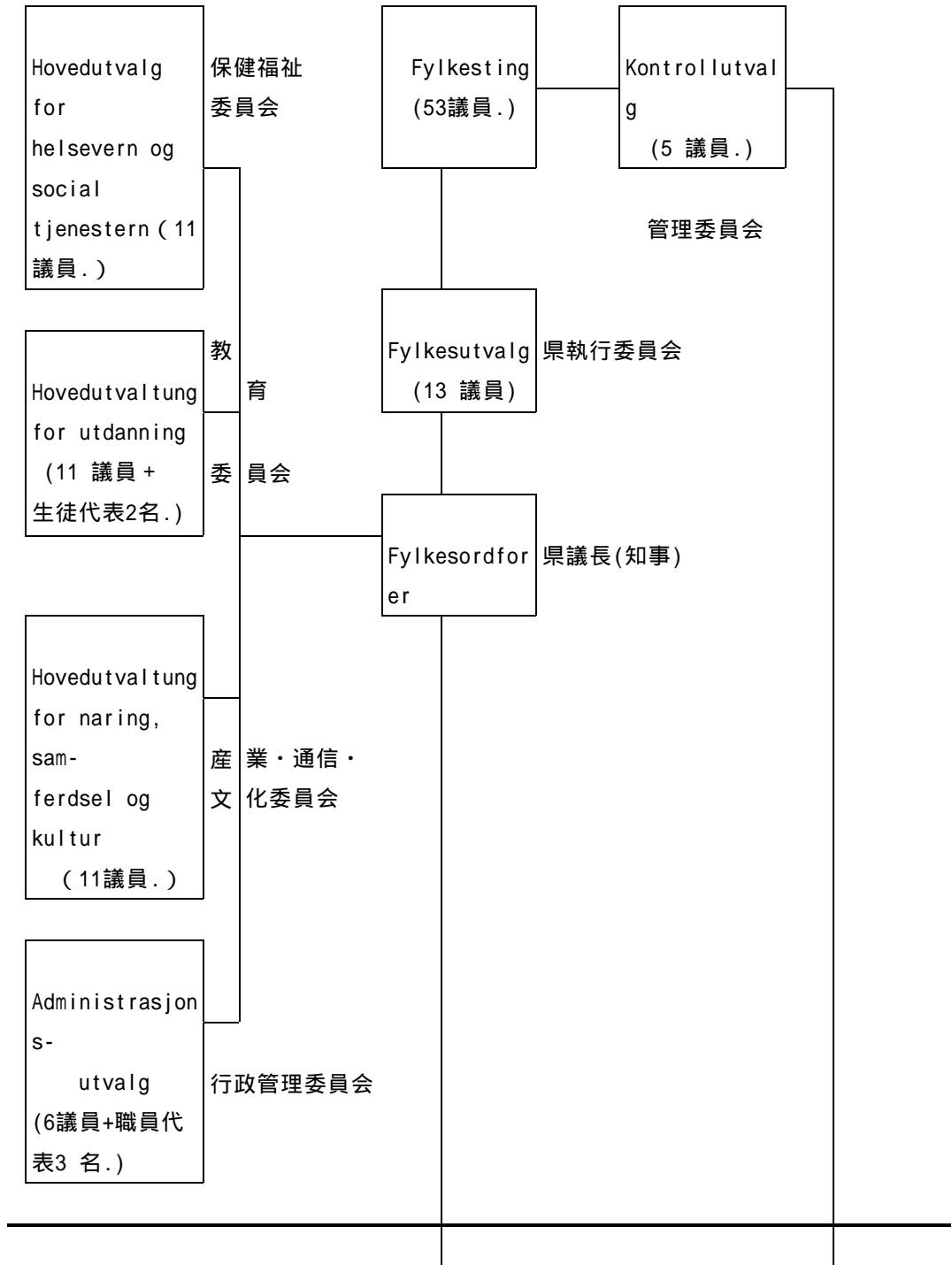
Sor-Trondelag fylkeskommune, ORGANISASJONSKART

1996年以来の組織図。

2000年9月現在も同じ。

Politisk niva 政治レベル

県議会



☺

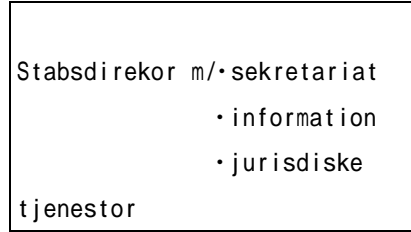
Administrativt nivå 行政レベル



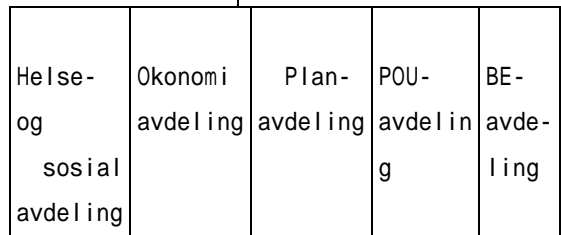
行政長

県

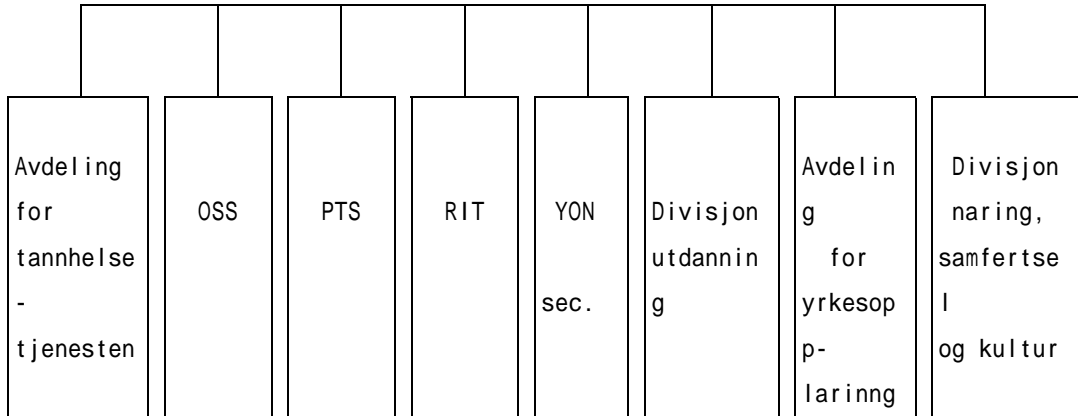
人事部長 県会計監査役



秘書部
広報部
法制部



保健福祉部 経済部 計画部 企業部



歯科保健部

教育部 職業実習部 産業通信文化部

¢

Fylkestingが取り上げるのは、大きな問題だけ。

74(94?)年に高校に関する法律ができ、概ね今の決まりのとおり。

2000年8月1日の教育法改正で、成人の後期中等教育を受ける権利を保障した。

低学力(「弱い生徒」)問題が発生している。 karakuterar(個性、特徴; 評点) under middels (means, expedient 手段、方法)

高校の教員は、高校らしい教育をするべきで「保護者」のような役割を果たす教員教育は受けてこなかったという意見がある。

今の高校は、みんなのための学校。 inkluderende skole(KUFもこの概念を用いている。)

これについて議論している。

今の法律では、生徒の必要(ニーズ)に応じて教育をしなければならない。

みんなを受け入れる学校の教授法をしなければならないが、大学等でそういう教育を受けてこなかったので困っている教員がいる。

当県ではKUFの方針を実施するプロジェクトを作り議論をしている。

Ressurs kontor (office) がいくつか教育(講習会)をしている。

産業界の講習

この事務は独立。独立採算性を採っている。

場所は、学校を使う。20校。

成人教育法に基づくものではない。

なぜするか。1. 学校の収入になる。

2. 学校と地域社会との結びつきを強める。

県の教育計画

2004年までの計画を作った。2004年以降、16-19歳人口が急増する。

いくつかの側面で県の予算の承認が必要。

全体枠：地方債が大きすぎた。

Fylkesmann(県長官)が県の予算を認めない場合がある。

セル・トロンデラグ職業実習委員会

9月8日。yrkesopplaringnemndについての
セル・トロンデラグ県職業実習部(職業教育委員会事務局)での聞き取り。

職業実習委員会yrkesopplaringnemndの構成

被雇用者代表 2名 (2名ともLOの代表)

・ Stig Klonsten: 委員会副委員長 建築の地盤作り、壁作りの職人。
ノルウェー労働者党の県書記長

・ Synnove Bergan: 商業事務(handelns)の労働組合の専任

雇用者側 2名 (当県では2名ともNHO。雇用者組織はKSが代表の県も)

・ Eivind Jonsen: 委員会委員長。約20年間雇用者側の連合組織NHOの代表の職にある
・ Arve Haugan: ペンキ塗りの仕事(マスターの資格)。NHOの代表。

実習生代表 1名

・ Ingen Ronesen 実習生代表の最初の2年間の正代表
(ドレス・スーツの刺繍の勉強をしている)

(・M・・ 副代表。) (実際は、対等な代表)

産業・雇用に詳しい人 1名 (産業委員会の代表)

学校に詳しい人 1名 (Hovedutvalgの代表が来ている)

これらの委員は4年間の任期制。今の委員の任期は1999年10月1日-2003年9月31日。

実習生の任期は2年。ただし、連続性を保つため正二年、補欠二年を入れ替わりで務める。
(それぞれが、正と副合わせて4年を務める。)

職業実習委員会事務局の仕事

- ・ 実習生の席を見つけること
- ・ 途中の連絡、細かい問題の解決
- ・ 職業資格試験の実施
- ・ 実務 資格証明書発行。応募の受付。企業訪問・受け入れ依頼。実習生を訪問
年次報告を出している。

事務局の人数 14人

実習の席がなかった人で権利のある人: 62名

この生徒のためにVKを学校でやらねばならない。

- ・ それまでの成績が悪い人
欠席が多い人

他方で、進学したいので学校でのVKを目指す人がいる。

1年で終われる。

これをなくす努力をしなければならない。

VKをクラスで作ると予算がかかる。(1人当たり6万~7万NOK/年。84万円~98万円)

☺

その費用をこの機関が払わなければならない。

しかし、法律によれば席を与えると断ることはできない。

これをこれから厳守させたい。

一般教育40%、職業教育60%にするのが県議会の指針。

行動計画 2000-2003年

目標は、・学校に見習い生を考慮した教育をさせること。

・企業に、学校で得た教育を踏まえて見習いをさせること。

調整のためには労使の協力が必要。

今、ピーオーセンに、2004年に完成予定の高校を建てている。

車を修理する企業を学校に作っている

席、設置の時、常に雇用情勢を考慮している。

失業に向けて訓練をする事は避けようとしている。

職業紹介機関もあるが、その???

いま伸びる可能性としての職業

・厚生(看護婦etc.,) 2007,2008

・トロンハイム(建設)

ex.この町の病院の建て直し

職業教育委員会の長と副長は日常的に仕事。

また、その仕事を事務局に委嘱。

契約を結ぶとき、opplæringskontorを通じて結ぶ。

企業側の実習生受け入れ事務所

今、委員会が取り上げている課題は、それを、例えば、厚生社会、建築・建設、

事務、のように、職業別に設けるべきか否か。(従来は、kontorが職業別にあった。)

職業教育委員会では、業界別に席を見つけるべきだとして、建設業界のkontorの申し出を断った。

学校と企業との関係。附加事項

見習い生の実習の改善のために企業において見習い計画を作ってもらった。

99年以降は、計画書無しには実習生を受け入れることができない。(法定どおり。)

途中放棄、途中解約、不満・苦情、見習い生の理論学習

・KUFに取り消しを報告している。ORDINに載っているだろう。

・取り消しは、殆どが見習い生の方からである。

選択が間違っていた、体験して不適性が判った、等。

・企業から解消した例はほとんどない。今年では2つ目を扱っている。

・見習い生が大きな間違いを繰り返している。

・サボり。ものを盗んだとき。

○ 今のところ、3年の権利(後期中等教育の?)を4年に伸ばす話があるが、実験段階。

○

Heimdals校

電気学科、電子学科の聞き取り 9月11日

Henrik Henriksen...電気学

Kare Sundsfjord ...電子工学

電気、電子どちらも人気があって生徒の学力水準は高い。

生徒の学力には差がある。

12人,or13人が1クラス。

障害がある人も受け入れなければならない。

他方で、入る生徒は学力が高い。

聾啞者で読み書きの悪い人がクラスの中に2,3人いる。(数年かけて卒業する)

低学力の生徒のために特別の教育をしなければならない。

聾啞の生徒が電気のVK1に1人いる。手話通訳がついている。

・スポーツ・体育でも本来2年間の過程を4,5年かけて特別の選手養成をしている。

電気。学校で2年学習、

2年半実習 卒業。又は3年学校で卒業(この学校では、無い。)

学校では理論学習(器具のない)、企業では実習という風になってきた。

学校では実際の企業での作業に触れないことで生徒の不満がある。

電子工学の方は、実習、実践学習はやりやすい。

VK、実習企業の席がない。殆どの人は学校で3年間学習する。

運が良ければ、2年の学習の後、実習の席を確保できるが、今の所それがあるのは電話機の組み立てのみ。

学校の3年の勉強で卒業資格を得るが、その資格は仮資格のようなもの。

あと1年半実習が残っており、就職すれば1年半の後、正規の資格を得るが、

その実習をしなければ無資格に終わってしまう。

GKは、電気、電子あわせて2クラス。12×2=24人

この中で申し込んだうちのうち半分はVKに残る。

電気VK:15人。電子VK:15人。すべての上級コースは1クラス上限15人。

VKに行けなかった人も電気・電子を学ぶ権利を持っており、県の教育部の責任で長い時間を掛けて、完全な資格では無いとしても、勉強するようにしている。県教育부가そういう生徒をフォローアップする責任を負っている。

この学校ではradgiverの1人が担当している。

達しない人は、部分的資格証明書をもつ。ex.店のレジ。

一つのクラスのうち、2,3人が高等教育を目指す。

T O F。Tekniske og Felles 最近、一般教育及び技術科というのができた。

学校で4年間学習をする。

GKで 学校3日、企業での実習2日。

4年の途中で証明書を取って、さらに物理、一般科目を学習をするが、
技術の資格を取る。

Heimdal校 社会科 samfunngslareの聞き取り

(一般教育向け生徒の社会科 2000年9月11日)

Henry Notaker 教諭

毎週2単位時間 (= 2コマ = 2時限) の授業

1コマ45分 × 1年75コマ × 2

生徒は成績を重視

第1章 ノルウェーの政治の仕組み

議会制民主主義、政党政治

国

コムーネ

県

今は政治意識が変化しつつある。どちらかといえば右傾化。

地方裁——最高裁

国際政治のこと

戦争と平和、国連、人権、

家族、家庭、男女、人権

道徳、子どもの権利

労働市場、労働と経済

失業防止がノルウェー政治の大きな課題

生徒は労働に関する個人の権利、義務を学ぶ。

労働紛争、労働組合、雇用者組織

職場における民主主義、職場の社会環境・自然環境

生徒は起業家になることを学ぶ。企業の作り方

他文化、他宗教との出会い。

社会問題を取り上げると生徒は関心を持つ。

生徒は政治にあまり興味がない。

木、土にバイト。

ex. 20年前は政治問題に関心をもち、それに関する新聞記事を読んでいた。

今は、マテリアリズムmaterialisme = materialism物質主義、実利主義

私の子供時代：10～15人に1つサッカーボール

今はみんなもっている。

戦争と平和の諸問題

2重の教育が必要

客観的な事実の教育
 その上で教師が自分の意見を言う。

教科書の承認は大きな問題ではない。

将来は、生徒が自分で選べる状態にする。

- ・ 30年間社会を教えているが、一度も非難を受けたことがない。
- ・ この規準は、大多数が受け入れるであろう。
- ・ 色々な人を学校に呼んで話をしてもらっている。

ノルウェーでは政治家が教師を非難することは非常に稀である。

ノルウェーの教師は、異なる見解の政治家等を学校に招いて話をしてもらう慣行がある。

政治家が教師を非難することは、殆どない。

学校のあり方を納得している。

政治家に教師出身者が多い。

高校で親の意見を聞く機関がない（事は問題かもしれない??）

ナチスに近い教育をして裁判になった事例が数少ない事例。

宗教教育（同じくHenry Notaker 教諭 2000年9月11日）

北川の質問。
 道徳や秩序を教えることと宗教教育との関係
 自然科学、科学的認識と宗教との矛盾はどうする？
 宗教間の争いについてはどう教えるか。

道徳と宗教は区別して教えている。

道徳と宗教は伝統的に結びついている。

宗教心が落ちると道徳も落ちるといふことにならないように。

宗教に共通の道徳や人間のあり方があるということが宗教の時間の内容になっている。

1800年代のキリスト教と社会主義の問題を取り上げて共通点が多いことを示している。

科学と宗教

自然科学的な世界観も取り上げる。

自然科学とは違う側面も取り上げる。

宗教間の争い。

宗教に対する寛容を教えている。

宗教に人権に違反する行動があれば、それを（是認すべきでない）と教えている）

ex. 結婚相手を親が決める。

校長（社会科について）

高校での職業科生徒の社会の時間は2時間だけ。そもそも興味を持っていない。

もう少し実習に、社会科で学ぶことを関連させて教えた方が良いという考えをもっている。

Trondheimの工科大学の教授たちは、高卒の生徒の数学の学力が落ちているといっている。

¢

しかし、私（校長）は、そうは考えていない。優秀な生徒は昔と変わらない水準に達していると思っている。

- ・生徒は難しい学問をしなくなったと言えるかもし得ない。
- ・何が大事か。 | 実習を組み合わせて、実践と理論の結合。現実的な問題を学習する態度
| 発案する
| 生涯にわたって学習する態度

Adolf Oiens skole

9月12日火曜9時 -

Rektor Kjell Jensen

Vice President Per Mehus

376人の生徒

G K 一般教育 4つのクラス 29人のクラスが4つ

うち1つは、handelnes-kontor（？）（商業兼事務）

このクラスは自然科学と数悪の時間が少し少ない。
職業に就くのが前提。

V K 1 7つのクラスがある。うち4つは、一般教育

残りの3つは職業教育

VKのこの3つに進学できる

- ・ 商業事務（ 2年実習 職業）
- ・ I K T（ 2年実習 職業）
すべての13のG Kから応募できる。
- ・ 旅行サービス・ホテル（ 2年実習 職業）

他の学校からも来る。

V K 一般教育のクラスが4つある。

ノルウェーは政治目標としては、複合学校を目指している。

この学校は従来一般教育校だったが4年前から職業学科V K が付け加えられた。

3校交換授業

この町は、一般教育に重みを持つ3つの高校が協力する仕組みを作っている。

時間割り表もほぼ一緒。

町の中心にある3つの学校の協力機構を作っている。

Adolf Oiens skole

Katedralskole

Gerhard Schonings Skole

となりのカテドラル校の100人の生徒がこの学校の授業を受けに来る。

¢

逆にこの学校の100人がカテドラル or X校の授業を受けている。

カテドラル校は、イタリア語、ラテン語を教えている。

この学校は、スペイン語を専門。

G校が、フランス語、ドイツ語専門。

一般教育では30時間G Kでは全部義務。

外国語はいくつかのなかから選ぶ。

第2外国語としては、独、仏、スペイン語の中から選べる。

中学で勉強した人は、やや中級から。

V K 共通科目は週13コマ (1コマは45分)

その他は生徒選択

計 30コマ

殆どの生徒はこの学校のV K に上げられる。数人の生徒は他の学校に変わる。

この学校に来る生徒は優秀なので。

けれども自然。

生徒数の上限は、法律or制令で定めている。

この学校では6, 7割が物理を選ぶ。

しかし、物理を選んでいる女生徒は3割。

基礎コースの応募者：平均2倍くらいが応募する。

今年は減ったが収容能力を20~30人超過。

V K への応募：数人が入れ替わるほかは、殆どは自分の学校に進む。

この学校では約10人、変わる。

一部は外国との交換留学。

一部は違う学科、違う内容へ。

高校の一般クラスの生徒数の上限は、G K : 30人

V K : 27人

V K

数学、情報を教えている。大学・カレッジへの進学的能力は充分持っている。

自然科学オリンピックがある。(数学、物理、化学)この学校から出席したこともある
国際オリンピックがある。

今年は、韓国でのオリンピックに、この学校の代表が参加した。

6000m² 校舎の延べ床面積

うち、3900m² 教室

2100m²は事務室、廊下。

多いときは650人の生徒が居た。しかし、青少年の減少で減っている。

B o s e n (?)で新しい学校を建てている。 2004年から生徒数増。

倫理・宗教(Adolf Oiens skole)の聞き取り

9月12日 ~ 11:15

Anne Randi Kvan (女性の年輩の先生)

人間の認識の中に宗教的問題がある。

人間の実存的なことを取り上げる学問が必要である。

高校の宗教の時間には世界の宗教の勉強をする。

ノルウェー社会は益々、多様な宗教。互いの宗教を知る必要がある。

倫理観

ノルウェーでは昔の倫理的基準に問いを投げかける人がいて、非難する人がいて、それを討論する状況が出ている。

10名の生徒は基準を探している。

それをクラスで討論して助けるのが倫理の時間の仕事。

自分の未定の事柄

倫理における問い。

この学校で倫理を勉強して、より確かな意見に達する。

社会科についてのインタビュー

Per Mehus(副校長)

ドイツの機関がヨーロッパの歴史及び社会科の教育内容の研究をした本がある。

Youth and History, K rber stiftung, 1997

C D Romもある。

重点

1. プロジェクトの学習で地域、地元の経済、政治を学習する。

事業家的態度。起業家。企業の作り方を。

2. もう一つの重点は民主主義。

18歳の青年の投票率は低いので、選挙、民主主義について考える。

倫理の教員

- ・生徒の中にはキリスト教信者でない人がおり、基準そのものは問われていないがその正当化基準を問うている。

社会科の教員

- ・ノルウェーの教育には矛盾しているところがある
- ・国の教育理念とそれに対する批判とが矛盾する。
ノルウェーの学校は中央政府的。

自然科学教育についての質疑

Ase Eidem 年輩の女性教員(自然科学科のリーダー)

Asmund Wattens 若い男性教員(この人の化学の実験授業を見学)

Knut H.Bodsiberd

大学に入った学生たちに数学の入門授業をしている。補足講義。

☺

こちらの大学、カレッジは3年間数学の学習をしていることを前提にしている。

しかし、数学の学習を2年で止めている学生がいる。

大学によって、補足授業をやっている。

高校で3年間数学を学習していれば一応充分。

しかし、他国に比べて数学の学習レベルは、やや低いかもしれない。

一部には進学しない生徒もいる。この生徒のニーズにも応える必要。

理系は、大学では物理か化学。

75%は理論学習

とノルウェーでは

学習内容は1Bコースの場合、

25%は実験。

決まっている。

物理の授業

私は予習は求めない(要求する教員もいるが。)ディスカッションを求める。

科学技術の発展の必要にノルウェーの高校の科学・数学教育は応えているか。

Ase Eidem : yes

Asmund Wattens :

- ・大学での補足コースをもっと拡大しないといけない。
- ・もっと多くの自然科学の授業が必要。若いときに取らなかった人のために。
- ・小学校から理科教育が必要。
- ・小学校では全教科教員が授業を担当しているので $(3/8) \div (2/3)$ を教えられないなど 日本と同じ問題がある。
- ・数学ができる人が小、中学校教員に志願しない。

20hours/weekの授業。

Asmund Wattensは化学の修士号をもっている。中学生を教えたいが、小中の教員になると専門科目を教える時間があまりに少なく、専門外を教える時間が多い。

- ・いくつかの教員養成学校では、小学校教員になるための席が30%空いている。
- ・今は、義務教育教員養成校にゆけば、第1学年 - 第10学年を教える免許。
- ・大学・カレッジで免許を取っても1 - 4年生担当の教員にはなれない。